広報 縄文村だより vol.211(9月号)

Jomon Times 與松島縄文村歷史資料館 東松島市宮戸字里81-18 TEL 88-3927 FAX 88-3928



夏の人気イベント開催!!

奥松島の旬を

7月9日、大人気イベント 「縄文グルメを食そう!ウニ」 を開催、約 40 名のウニ好き さんが集合しました。



▲石器で口のまわりを叩く参加者

まずは「縄文人とウニ」についての講座から。イベント会場である 史跡公園内の貝塚から、ウニのトゲや殻が見つかっていること、縄文 人が素潜りでウニを獲っていたこと、ウニの生態などをじっくり学ん でいただきました。

講座の後は、石器を使ってウニ剥きに挑戦しました。「アリストテレ スの提灯」と呼ばれるウニの口を取り、殻を大きくあけてワタを取っ たら、ようやくウニの身が見えました。



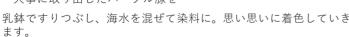
特製の縄文土器に綺麗に よそってウニ丼にしていた だきます!大人も子どもも 幸せそうにウニを頬張って いました。

古代の高貴な証し。 貝紫染め体験。

7月30日、「貝紫染め体験」を 開催しました。「貝紫染め」は、古 代の地中海を中心に広まった、巻 き貝を使った染め物です。里浜貝 塚からも出土する「アカニシ」と いう貝から染料を取り出しました。

写真の黄緑色の部分が、染料と なる「パープル腺」。あまりの少な さにびっくり!そして「これが本 当に紫色になるの…? | と不安げ です。

大事に取り出したパープル腺を



日光のもと、干していくと紫外線と反応してみるみる紫色に!そ れまで半信半疑だった皆さんのびっくりした表情が印象的でした。



▲染色中。染料は茶色に変色。



▲染色後。紫に!

縄文の技、 土器作りに挑戦!

7月22、23日、縄文村長寿イベント 「縄文教室」の初回「縄文土器作り」 を開催しました。今年も2日間で土器作りに挑戦する「本格派コース」、23日のみの「オリジナル土器作りコース」 の2コースを設けました。

里浜貝塚出土の土器や、他の遺跡か ら出土する土器を参考に土器を作る 「本格派コース」。ほとんどが昨年度も 参加し、より良い作品を作ろうと取り 組んでいました。



▲はじめての土器作りに真剣。





▲里浜貝塚出土の土器を参考に 制作する「本格派コース」。

初参加も多かった「通常コース」 は、苦戦する場面がありながらも、 思い思いに土器作りを楽しんでい た様子。

「思うように形が出来ないけど楽 しい」「縄文人ってクリエイティ ブ!」と土器作りに夢中になって いました。

縄文教室はあと2回。土器の「野 焼き | と「縄文料理 | に挑戦する

縄文シティサミット in ひがしまつしま

来月、東松島市コミュニティセンターで、全国の縄文遺跡を有す る17の都市が集まる「縄文シティサミット」が開催されます。「縄 文に学ぶまちづくりと持続可能な社会」と題した講演、加盟都市 の首長によるサミットを一般公開します。

縄文シティサミットとは?

「縄文」でつながる全国 17 の都市が集い、縄文文化の魅力発信 や縄文を活かしたまちづくりの推進を目的に開催されているサ ミット。今年は東松島市が開催地となりました。

今年のテーマは?

縄文人に学ぶ SDGs

「縄文人は環境の変化や災害を乗り越え、いかに生きてきたか?」 遺跡に残された痕跡から縄文人に学びます。



10.15 SUN

15:00 - 17:30

縄文シティザミットin ひがしまつしま

講師・コーディネーター 水ノ江和同氏 (同志社大学教授)

東松島市コミュニティセンター

聴講お申込み:奥松島縄文村歴史資料館 TEL 0225-88-3927